



SERIOUS HEAD PROTECTION

*auto racing helmet*

マニュアル



## **⚠ 警告** ご使用になる前に(ご注意)

あらゆる輸送機関には危険が伴います。低速度であっても、どんな製品も、起こりえるあらゆる事故や予測可能な事故から使用者を保護することは出来ません。使用者のけがや死亡を防止するための製品の機能に関しては、いかなる保証も表示されていません。使用者が全ての責任を負担するものとします。

ヘルメットの保護機能と適切な使用方法を学びましょう。最大限に機能を発揮するためにヘルメットは、頭に合った大きさのものを適切に装着し、ベルトを締めなくてはなりません。

## **全ての安全装置の限界**

たとえヘルメットを装着していても、非常に低速での事故でさえ、重傷または死に至ることがあります。低速とはどれくらいを指すのでしょうか?死亡事故や重大な頭部損傷の事故事例は、時速30km未満の事故で報告されております。頭部損傷の中には、どのようなヘルメット防止できないものがございます。実際には、殻を割ることなく卵の黄身を崩すように頭部を打たなくても、場合によっては死亡または深刻な脳傷害が起こる可能性があります。

## **ヘルメットの性能**

事故には、それぞれ固有の過程があります。速度・角度・当り面の状況が様々あり、どのように個々の分析にも状況によって様々な理由があるために事故の結果を分析するのは不可能です。

どのヘルメットが事故での怪我を防ぐのかを正確に予測することは出来ません。しかし、ヘルメットを着用しない場合よりもヘルメットを着用した場合の方が、はるかに怪我を防いでいることは研究で証明はされております。ヘルメットを着用されていない場合は、わずか1メートルの落下でも致死傷を負う可能性があります。

ヘルメットは、カバーされている頭の部分だけを保護します。ヘルメットでカバーされていない首、胴体、または頭の部分を保護するヘルメットはありません。可能な限り外側のシェルの広い領域に衝撃を拡散させ、非弾力のエネルギー吸収インナーライナーの潰すことによって、衝撃の力を吸収するように設計されています。衝突がヘルメットの保護能力を上回るほど激しい場合には怪我や最悪死亡に恐れがあります。

ヘルメットの性能に関する詳細、または、ヘルメットが重大な影響を受けた場合の対処方法については、当社のウェブサイト[www.bellracing.com](http://www.bellracing.com)をご覧ください。

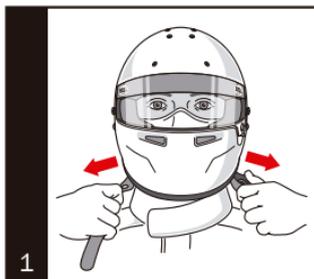
### **義務事項と禁止事項**

ヘルメットには、国際自動車連盟(FIA)、BELL RACINGにより承認されている頭部拘束装置以外は、何も装

着しないでください。付属品はどんなに小さくても障害を起こすことがあります。硬い付属品は、事故のときに首や頭をねじる原因となり、重症や死亡に至る恐れがあります。・ヘルメットは、自分で改造しないでください、ヘルメットの機能を維持することが出来なくなる恐れがあります。・使用者の用途に合わせて、専用設計されているヘルメットをご使用ください。・ヘルメットは正しい位置で、しっかりとベルトを締めてください。・ヘルメットは涼しく乾燥した場所で保管してください。60℃を超える温度にさらされるとポリエチレン製のインナーライナーが損傷し、ヘルメットの保護機能が失われる可能性があります。

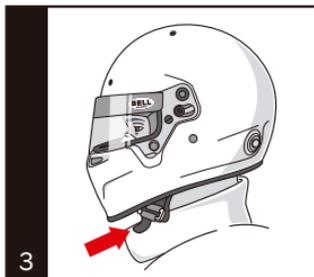
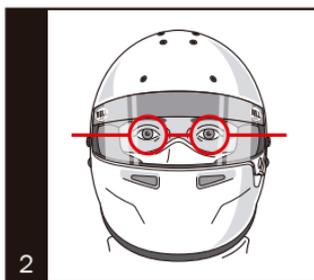
## ヘルメットの適切な使用

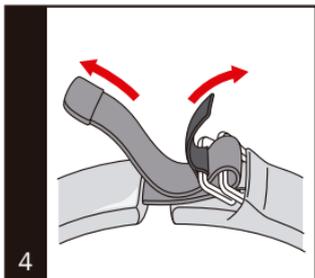
手順 1: ヘルメットを頭に装着する。  
ヘルメットを正しい位置で頭の上のせ両手で顎のストラップの半分をつかんでヘルメットを引きます。※図1を参照してください。



手順 2: ヘルメットのサイズを確認する。

ヘルメットを装着します。正しい位置に装着したときに、ヘルメットが頭にしっかりと合い、頭部全体を均等に圧迫されるようにします。頭頂部にも当たっている必要があります。図2を参照してください。顎のストラップを締めるには、ストラップの端を両方のDリングに通し、ストラップの端を内側のDリングに巻き戻し、喉に向かってしっかりと引っ張ります。顎のストラップが喉にぴったり合っていることを確認してください。図3を参照してください。





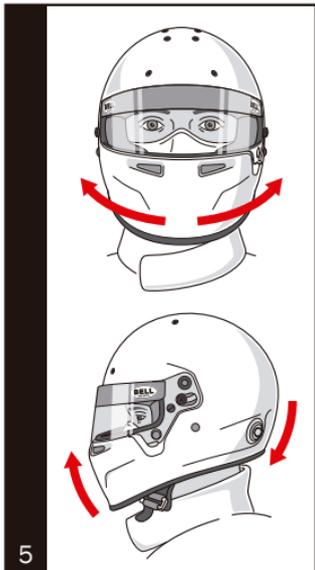
4

### ⚠警告 手順 3:ストラップ(あご紐)を正しく使用する

顎のストラップが正しいフィット感で適切に締められていると事故の際にもヘルメットが頭に密着しています。ヘルメットを着用するときには、顎のストラップが正しく締められ、喉にぴったりとなるまで引っ張るようにしてください。ストラップを正しく締めるには、図4のように顎のストラップをバックルに付け、ストラップが喉にぴったり合うまでサイドストラップを調整します。

### 手順 4:最終確認する

ヘルメットを頭に正しくかぶり、鏡の前に立ってください。イラスト5のようにゆっくりとヘルメットを最初は左から右へ、次に前から後へ動かします。皮膚がヘルメットの動きと一緒に動けば適切です。ヘルメットをどちらの方向に動かしても皮膚が動かない場合、適切です。正しくフィットするものが見つかるまで、さまざまなサイズを試してみてください。ヘルメットを適切にかぶり、顎のストラップを固定した状態で、頭からヘルメットを取り外そうとします。それをしっかりと握り、前方と後方の両方の方向に動かし頭から外そうとしてみてください。ヘルメットを取り外すことができたり、ヘルメットが後方にずれて額が露出したり、視界を妨げるほど前方に移動することができれば、ヘルメットが緩いか、ストラップが適切に調整されていません。ヘルメットが大きすぎる場合やヘルメットを取り外すことができる場合は、そのまま使用せず、必ず小さいサイズに取り替えてください。



5

### 手順1から4をくり返します。

ヘルメットを取り外すことができず、額を前に出すほど後方に、または視界を妨げるほど前方に動かない場合には、サイズは適切です。競技会で着用する場合は、フェイスマスクとともに装着することをおすすめします。注意事項:顎の部分に顎のカップを使用したり、ストラップを着用したりしないでください。事故の際、ヘルメットが抜け落ちる危険性を高めます。

## 手順 5:ヘルメットの取り外し方

ヘルメットを取り外すには、赤い"D"リングのタブを外側(顔から離して)に引っ張って顎のストラップを外し、ストラップを緩めます。図4を参照してください。ヘルメットを取り外すには、両手で顎のストラップの半分をつかみ、外側に引っ張ってヘルメットを頭から持ち上げます。図1を参照してください。外側に引っ張って頭から持ち上げます。

## 手順 6:試乗

手順1から4はヘルメットを最大限に活用するために重要です。適切に装着できるまで十分に時間をかけてください。手順1から4を正常に完了した後でのみ、長時間の着用を試してみてください。ヘルメットが快適に感じられ、しっかりと固定され、ストラップが適切に調整されていれば、ヘルメットはすぐに使用できます。ヘルメットを不快に感じたり、過度に動いたりする場合は、必要に応じて手順1から4を行って問題を解決してください。4つの手順すべてを正常に完了できない場合、またはヘルメットをかぶって快適でない場合は、ヘルメットの使用を中止し下記までご連絡ください。•ご購入頂いた販売店へお問い合わせください。

## シールドの操作方法と交換について

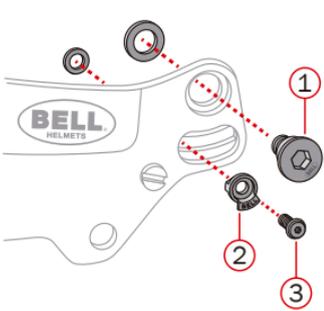
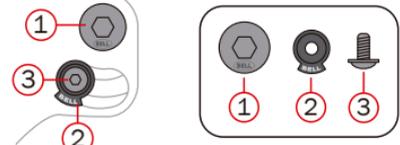
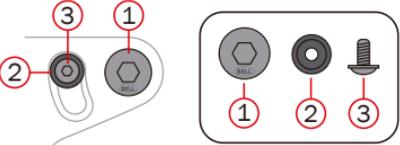
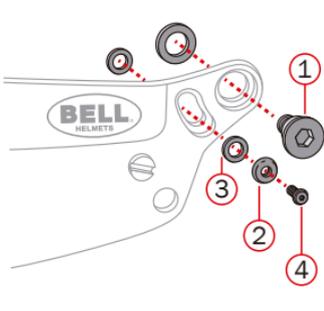
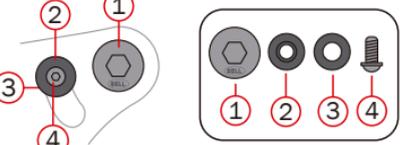
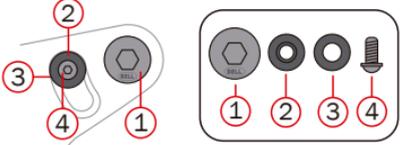
---

使用方法:シールドの左側の端に左手の親指を当てて左側エッジを上にも持ち上げます。(一部のベルシールドは、フレアやタブでモールディングされています。)、実際に使用する前に使用方法に慣れるために何度か練習してください。閉じるときは、できるだけ下になるまでシールドの上部中央を下に押し下げて、左側エッジの上にもスナップします。その際、左側エッジの上にも固定されていることを確認してください。

**調整方法:** 開口部の左下側にあるハトメボタンを調整することで、シールドの閉動作を微調整することができます。片手で中央の上端まで引き下げながら、六角レンチ（フルフェイスヘルメットの箱に同梱）を使用して、シールドがしっかりと掛かるように付属品セットのスクリューをゆるめ、ボタンを回転させます。好みに合わせて、付属品のセットスクリューを締めます。シールドは、シールドを開閉するために必要な圧力を制御するSVテンションシステムを使用して開閉します。

シールドの張力を調整するには、3/32 インチまたは 2.4mm の六角レンチを使用して、セットスクリューを好みの硬さレベルに締めたり緩めたりして調整してください。

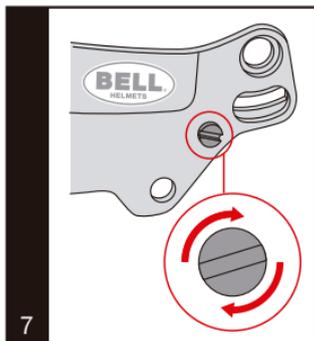
# シールドの交換:

マウンティング	部品説明	シールドタイプ	ヘルメットモデル
		SE07	HP7
			RS7
		SE07-2	KC7 CMR
			281 SVR
		SPORT	
		R1	
		Dominator.2	
		K.1 PRO	
287 SRV		GP2 YOUTH	
288 SRV		SPORT EV	
289 SRV	VADOR		
SRV8	M8		

☒ 6A

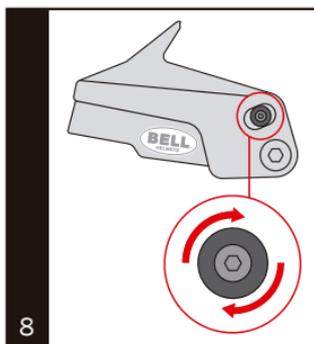
☒ 6B

1. 左右のサイドシールドのピボットネジを、六角レンチ (5/16 インチまたは8mm) を使用して取り外します。
2. 3/32 インチまたは2.4mm六角レンチを使用して、左右のSVネジを取り外します。
3. 古いシールドを取り外し、必要に応じて新しいピボットとワッシャーを交換して取り付けます。新しいワッシャーには、ヘルメットのシェルに付けるシール面があります。ワッシャーが内側を覆わないように注意してください。
4. 真ん中に置いたワッシャーの上に新しいシールドを置き、ぴったり合うまでピボットネジを締めます。ネジ山やピボットインサートを損傷する恐れがありますので、過度に締めないでください。もう一方の側でこの手順を繰り返します。
5. SVスクリューとブレーキワッシャーを元に戻します。シールドの動きをお客様が使用しやすい硬さに調整し、シールドを閉じます。左側エッジで調整が必要な場合があります。
6. 使用前に交換したシールドの動きと機能を確認して、正しく取り付けられていることを確認してください。他のBellモデルでは、このマニュアルに記載されているタイプとは異なるシールドピボットシステムを使用している場合があります。お客様のヘルメットが別の仕組みの場合、または追加の情報が必要な場合は、[bellracing.com](http://bellracing.com)を参照してください。



### 調整可能なティアオフポスト

Bell六角レンチ、コインまたはマイナスドライバーを使用して、調整ティアオフポストを回して、ポストの最も広い部分がフェイスシールドの中央に向くようにします。図7を参照してください。好みに合わせてティアオフを重ねます。図7に示すように、ティアオフがきつくなるまでティアオフポストを回転させます。一部のモデルではティアオフポストがすでにインストールされていますが、インストールが必要な場合があります（付属の説明書参照）。化学薬品がシールドに損傷を与える可能性があるため、特に市販のティアオフポストを使用する場合は、いかなる場合でもネジロックを使用しないでください。



### バイザーピーク

オープンフェイスモデルにはバイザーピークが付属しており、フルフェイスモデルもシールドピボットスクリューとSVスクリューを使用してヘルメットに取り付けられたバイザーピークの使用が可能です。ピークバイザーが均一に装着出来るように確認してください。六角レンチを使用して、必要に応じてピークを緩めて調整します。ネジを締めすぎないでください。図8。

ヘルメット使用時に適切な見え方および聞きやすいように調整をお願いします。

## 外装のお手入れについて

Bellヘルメットは、傷の付きにくい強靱で高光沢のポリウレタンコーティングで仕上げられています(いくつかのBellモデルはマットやグラフィック仕上げが施されています)。自動車などのお手入れの仕上げに使用される高品質の製品でクリーニングすることが可能です。Bellヘルメットクリーニングキットに含まれている製品のご使用を推奨します。

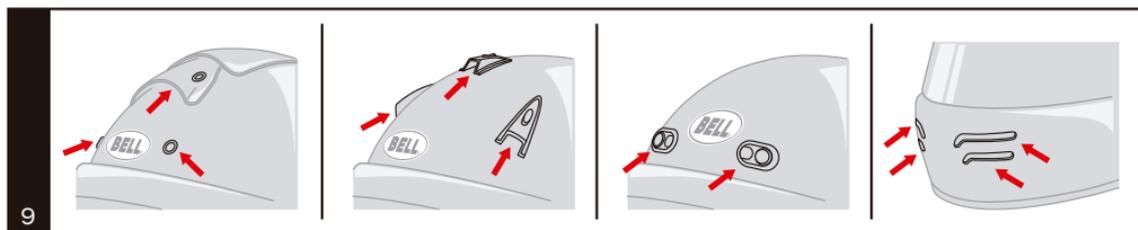
### ⚠ 警告 内装のお手入れについて

ヘルメットの内装表面は、中性洗剤を少量入れた水のみでクリーニング可能です。柔らかい布を使用し、良く絞ってから汚れをふき取ってください。乾燥する際は、風通しの良い日陰にて行ってください。警告:溶剤や石油系のクリーナーは、ヘルメットの衝撃吸収ライナーを痛めてしまうので絶対に使用しないでください。熱でヘルメットを乾かそうとしないでください。温度が高すぎると内装や内装と外装の間の接着剤などを溶かしフィッティング位置が変化する恐れがあります。

## エアダクトについて

いくつかのBell四輪用レーシングヘルメットにはエア取り入れ口があります。これらの通気口のいくつかは、エアの流入を多くしたり少なくしたりボタン部分を押ししたりスライドなどで調整することが可能です。図9。

⚠ 警告 ヘルメットにあるエアダクトは、火災時に重傷または死に至るケムリ、熱または炎の導入口となる場合もありますのでご注意ください。



## 塗装について

---

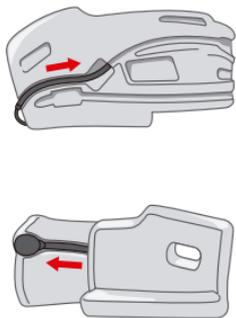
塗料はヘルメットシェルと反応し、その保護能力を高めています。ヘルメットの外壳は熱硬化性複合材料で作られ、ポリウレタンコーティングで仕上げられており、理論的には、高品質の空気乾燥アクリルまたはポリウレタンエナメルで再修理することもできますが、第三者によってヘルメットを塗装される場合には、ご注意願います。ヘルメットの内装に塗装する塗料は、加熱加工が必要な塗装はしないでください。ヘルメットライナーおよび他の構成部品の性能に影響を及ぼす可能性があります。

**⚠ 警告** 塗装中にヘルメットを分解したりもしないでください。お客様オリジナル塗装ヘルメットは、返品または交換することはできません。Bell Racingにてカスタムペイントサービスもご利用いただけますので、詳しい情報はBell RacingのWebサイトをご覧ください。

## HANS POST CLIPについて

---

一部のBellモデルには、特定のHANS用のHANS POST CLIPが装備されています。特定のSnell、SFI、およびFIA規格に準拠したBellのモデルは、M6端末ハードウェアがシェルに取り付けられており、承認済みのHANS POST CLIPと互換性があるようにテスト、承認されています。お選びのBellモデルにM6端末ハードウェアがシェルにインストールされていない場合、またはHANS POST CLIPインストール用にあらかじめ設計されていない場合は、HANS POST CLIPを取り付けることは出来ません。HANS POST CLIPの適切な設置および選択は、お客様の責任であり、すべてのリスクを負うものとします。



## RADIO KITの装着について

一部のフルフェイスモデルでは、ヘルメットのあご部に設置されたフェイス

ピースアセンブリーに凹んだエリアを設計し、内部を傷つけることなくマイクを設置できるようにしました。当社ではフェイスピースの背面(シェルに面する側)にラジオブームマイクを取り付けることを推奨しています。フェイスピースアセンブリーの中央にある柔らかいスポンジ部分を取り除いて、マイクをフェイスピースの前面に収容するように設計されています。無線機器の適切な設置はお客様の責任であり、すべてのリスクを負うものとします。

## 修理と点検サービス

ヘルメットの損傷は、必ずしも目に見えるわけでは無いので強い衝撃を受けたヘルメットは新品に交換するか、BellRacingEuropeへ商品を送り点検を受けるようにしてください。ヘルメットを購入してから5年未満の場合BELLRacingEuropeでは、無料でヘルメットを検査し、破損状況報告書とともにヘルメット修理費用をお見積りします。修理は、ヘルメットを元の状態に戻すことができる場合にのみ、お客様の承認を得て行われます。Bellは所有者または第三者によって変更されたヘルメットの修理については受付できません。点検または修理のためのすべての返品は、事前にBell Racingの許可を受けて承認されなければなりません。ただし、弊社工場(バーレーン)への発送運賃の負担及び購入日・商品名・販売店名が明記された領収書が必要です。

## 限定保証

ご購入日から2年以内に材料または製造上の欠陥があるとBell Racingで判断されたすべてのBell Racing四輪用レーシングヘルメットは、工場までの運送費、領収書とともにBell Racingにお送りいただければ、Bellのオプション、無料で修理または新品に交換されます。この保証は、他のすべての保証の代わりに明示されています。商品性または特定目的への適合性についての保証は、この明示的保証と同じ期間に設定されます。Bell Racingは、偶発的または間接的な損害について一切の責任を負いません。一部の国/地域では、黙示保証、付随的または結果的な損害の排除または制限を認めないため、上記の制限および除外がお客様に適用されない場合があります。この保証は、誤った使用、悪用、無視、変更、指定されている保守を行わないこと、または許可されていない修理またはサービスに起因する場合は適用されません。この保証は、本保証の規定を超えてディーラーによって行われた表明または保証には適用されません。保証サービスまたは交換を受けるには、購入証明書を作成する必要があります。この保証は、お客様に特定の法的権利、また国や州ごとに異なるその他の権利を付与します。すべての製品の返品は、事前にBell Racingの承認を受ける必要があります。ベルオートレーシング製品についてご不明な点がございましたら、Bell Racingまでお問い合わせください。

[www.bellracing.com](http://www.bellracing.com)

